



オリンピック年度

校長 小田 和宏

冬季オリンピックが閉幕しました。過去最多のメダル獲得でわいたオリンピックでしたが、中でもカーリング女子の活躍が印象に残りました。大会期間中10日以上の間をかけて(もちろんこれは、決勝まで進んだからですが…)、1試合2時間を越える試合を続けていく集中力は、想像を超えるものなのだろうと感じました。

また、一投に様々な可能性を考え、刻々と変わる氷の状況、ラインによるストーンの動きの違いを見極めて第2プランに切り替える判断力、コミュニケーションを取り合い、協力して目指す位置にストーンを導くチームワークには、ストーンの行方をドキドキしながら観るのと同時に、競技の奥深さを感じ素直に「すごい」と思いました。

「コンシード」という習慣もまた、独特で驚かされたものです。私が朝会などの機会に子どもたちに話をするときには、「最後まであきらめないで」と伝えることが多いです。しかし、3点取れたらビッグエンドと言われるこの競技では、相手へのリスペクトの表し方であり、それまでの積み重ねがあるからこそそのスポーツマンシップを表す行為なのだ学びました。

今年度は、年度内に夏季・冬季の両方のオリンピック・パラリンピックが行われる異例の年となりました。先日、東京オリンピックの開催を記念するとともに、様々な学校での取組に対する記念として、ポロシャツが届きました。右の写真は、それを職員室アシスタントの方がディスプレイしてくれたものです。3月4日からは北京パラリンピックが行われます。以前子どもたちに伝えた、オリンピックの精神やパラリンピックの価値を改めて子どもたちと共有していきたいと思いました。



この一年間「コロナ禍で、どうしたらできるかを考える」という思いで教育活動を進めてきましたが、感染拡大状況によって、どうしても制約されるところや中止等の決断をする部分がありました。過日ご協力いただいた学校評価でも、行事等へのご意見を多くいただきました。状況に応じた判断力、決断したプランに向かって全力で進んでいくチームワークを大切にして、次年度以降の行事や子どもたちの活動について、実施計画を工夫していきたいと思えます。

最後になりましたが、子どもたちを温かく見守ってくださり、教育活動にご支援・ご協力をいただいたPTA役員の皆様をはじめとする保護者の皆様、地域コーディネーターを中心とした地域連携協働本部の方々、学校運営協議会の委員の皆様、地域の方々に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

委員会紹介

2月、今年度最後の委員会活動が行われました。後期の振り返りを行いました。6年生は、委員会で学んだことを中学校ではどのような場面で発揮していきたいのか、5年生は最高学年としてどんな姿を目指したいのかを中心に振り返りました。

同日、各委員会の委員長・副委員長が、委員会の仕事内容、やりがい等を4年生の前で紹介しました。4年生は、4月から委員会に所属し、学校を盛り上げる立場になります。委員長・副委員長の話を熱心に聞き、学校の中心となって活動しようとする気持ちを高めていました。



けんこう会議

2月3日けんこう会議を行いました。4年生以上のクラス代表児童、けんこう委員会、教職員が参加しました。

今年度は「食事・運動・睡眠のバランスを整えて病気に負けない体をつくろう」というテーマに取り組みました。けんこう委員が生活リズムについての動画を作成したり、元気アップ週間に取り組んだりしました。

各クラスでも目標を一つ決め1年間取り組みました。「外遊びで、大人数で楽しく遊べるようになった。」「バランスよく食べるように心掛け、給食をほとんど残さなかった。」「手洗いは時間がないとできない時があったので、時間をつくりたい。」などの振り返りがありました。

良い生活リズムは、心身の健康の基礎となります。今後も健康的な生活を皆で意識して続けていきたいと思えます。



第2回地域学校協働本部会議

本部会議において令和3年度の振り返りを行いました。図書ボランティア他多くのボランティアを募集・運営したり、授業の講師を学校とともに探して下さったりしたことや、今年度より新しい本部役員を迎えたことは、本校の教育活動へ大変大きな効果を与えてくれました。

来年度やってみたいことも話題となり、学校と地域が連携することにより、さらに子どもたちの学びと成長を支えていけるよう取り組むことを確認しました。

来年度も地域学校協働活動が充実するよう学校も努めてまいります。



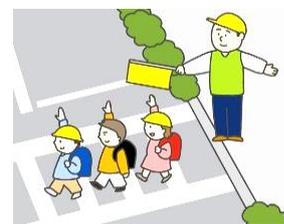
下校時の安全指導について

児童の下校について、朝会や各クラスで次のような指導を行いました。

○道に広がって歩かないこと。(車との衝突が心配です)

○友達と一緒に走ったり、ふざけ合ったりしないこと。(ケガやトラブルが心配です)

ぜひご家庭でも話題にさせていただき、児童自身がマナーやルールを守って行動するよう、お声かけください。合わせて学校と家庭、地域も一緒になって児童の安全を守るよう、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



6年 卒業に向けて

卒業プロジェクトの一つ、学校修繕プロジェクトの活動が山場を迎えています。このプロジェクトでは、学校施設への感謝を込めて、来年度からより過ごしやすい学校にするために、四部門に分かれて学校を修繕しています。

一つ目が教室の看板作りです。これは各クラスの木彫りの教室札がありますが、設置されていないところもあることから、新たにデザインし彫刻刀で立体的に彫っています。二つ目がビオトープ修繕です。木の橋から池に落ちないように端に線を引いたり、デザインを施したりしています。三つ目がビオトープの看板作りです。これは、ビオトープの本来の在り方について説明したり、生き物を紹介したりして、全校児童の憩いの場とすることが目的です。四つ目は投てき板の修繕です。休み時間や体育の時間に活用できるように塗装を進めています。



4年 10歳を祝おう

4年生の10歳になる年を祝うため、実行委員が中心となって会を開き、プログラムの企画や準備を進めています。これからの自分についてを一人ずつ話す「決意の言葉」や、今までの小学校生活を紹介する「成長物語」など、内容は盛りだくさんです。このプログラムを通して、会のスローガンである「これまでをふりかえり、みんなで協力して一人一人が一生懸命頑張って10歳を祝おう」を達成できることを目指しています。後日配信する動画では、そうした思いをもって取り組んでいる、子どもたちの姿を見ていただくと幸いです。

2年 プログラミング教室

はまぎんこども宇宙科学館の出前授業で、プログラミングに挑戦しました。パソコンを使わずにプログラミング学習ができる教材「PETS」を使って、ロボットを動かす学習を行いました。マス目にある障害物にぶつからずに進めるにはどうしたらいいのか、ロボットに組み込むピースの数や種類を変えながら、試行錯誤している姿が見られました。子どもたちは、思い通りにロボットが動くとともに喜んでいて、達成感を感じていました。



5年 『ペッパー』講座

25日にソフトバンクの方に来ていただいて、ペッパー君と共にSDGsに関するお話をしていただきました。いつもは高田中学校にいるペッパー君ですが、先週と今週の2週間は、高田東小にも来てくれています。そのペッパー君の話をもとにSDGsを学びました。例えば、ペッパーくんは男の子か女の子かという話からジェンダー平等について考えたり、最近普及しているリモートワークから多様な人が共に働くことができる社会について考えたりしました。変化し続ける、予想がつかないこれからの社会について考えるよい機会になりました。

